

活動実績報告書

平成26年12月15日

登録番号 20140819

氏名 岩下 哲博

1. 活動状況

平成25年4月～平成26年1月1日

・活動の概要

朝倉市と嘉麻市にまたがる区域において森林整備協定（森林共同施業団地設定）の構想と締結に向けて取り組んでいます。

・当該活動を挙げた理由

森林整備推進協定の締結及び同協定に基づく森林共同施業団地の設定により、民有林と国有林が連携することで事業の効率化や低コスト化等が図られます。具体的には効率的かつ効果的な路網配置を実現することにより、効率的な作業システムの導入、原木の計画的な供給体制の構築、計画的な事業量確保に伴う林業労働者の安定的な雇用等の確保が図られる取組であると考えます。

・当該活動における、あなたの立場と役割

森林共同施業団地の適地、構想の検討、協定締結に向けた民有林関係者や所有者との調整、合意形成により、森林共同施業団地を設定・実施する役割を担っています。

・活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的な対応

この森林共同施業団地の核となる森林作業道は、幅員不足で10tトラックが通行できない・路肩が一部決壊している状況で有り、これを整備する工事が必要になっています。

この森林作業道を林業専用道に格上げする道筋を示し、周囲の森林整備を加速化するような内容で仮協定（覚書）を結ぶことが出来ました。

⑤活動のよる成果で残された課題及び今後の改善方法

他県の共同施業団地と比較すると面積的には小規模ですが、森林整備が推進できた成功事例を作り、他地域に広げていくことを考えています。

具体的には県や市町村の林業担当者、各地域の森林組合等の民有林関係者に紹介することにより、他の地域においても、民有林と国有林の連携が行えるよう合意形成し、PDCAサイクルを活用し、森林整備の推進に役立ちたいと考えます。

2. 研修の受講状況

研修名 准フォレスター研修 平成25年9～11月
(実施主体) (林野庁)

研修名 林業専用道技術者研修 平成25年8月
(実施主体) (林野庁)

研修名 チェンソー伐木造材技術者研修 平成25年6月
(実施主体) (林野庁総合技術研修所 林業機械化センター)

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

「福岡県森林作業道作設現地検討会」において講義を担当 (H26. 11)

「福岡県林道技術検討会 計画部会」において講義を担当 (H25. 10)

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3:活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4:この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。